施策評価シート(平成22 年度の振り返り、総括)

作成日 平成23年 06月 21日

施策 No.	31	施策名	防犯対策の推進		
主管課名	安全安心課	電話番号	0285-83-8394		
関係課名	商工観光課 学校教育課				

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	16年度実績	17 年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21 年度実績	22年度実績	26年度見込
人口	人				66,808	83,392	82,997	82,584	85,500

施策の意図

- ・犯罪による被害から守る。
- ・犯罪やそれにつながる問題行動を未然に抑制する。
- ・警察からのデータの入手。(暦年)

成果指標設定の 考え方及び 指標の把握方法 (算定式など)

- ・市民意向調査による入手。
- ・犯罪発生件数で防犯がどの程度実現できているかを把握する。
- ・犯罪に不安を感じている市民の割合を、市民意向調査により把握する。

成果指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21 年度実績	22年度実績	26年度 基本計画目標値
市内の犯罪発生件数	件				1,107	1,078	927	781	800
犯罪に不安を感じている 市民の割合	%				66.4	63.8	72.1	69.3	30.0

施策の成果向上に 向けての 住民と行政との 役割分担

- ・市民は、「自分たちのまちは自分たちで守ろう」という意識をもつことが必要であり、地域 が主体となった身近な防犯活動を継続的に取り組む必要がある。
- ・市は、市民の自主的防犯活動の支援や防犯灯の設置補助等による防犯環境の整備促進を図る
- ・警察は犯罪者の検挙により犯罪を抑制する役割を果たす。

- 1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
- ・平成22年における栃木県内の犯罪発生件数は、23,500件で前年と比べ2,490件、9.6 %減少し、また真岡市内の犯罪発生件数も前年に比べ146件、前年比15.7%減少した。
- ・警察署ごとの千人あたりの発生件数では、県平均11.7件に対して、真岡市においては9.5件で、県平均より低くなっている。
- ・子供を狙った犯罪につながる問題行動(声かけ・暴行等)は、平成20年は34件(旧二宮町分を含む)、平成21年は29件と減少したが、平成22年は46件と大幅に増加した。

22 年度の 評価結果

- 2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括
- ・安全安心のまちづくりを推進するため、ふれあい地域づくり事業での、交通安全・防犯・防災・消費生活等の座談会を、真岡警察署等の協力を得て延べ138回実施した。
- ・不審者情報などを市のホームページにおいて情報提供した。
- ・市民による自主的な防犯パトロール活動を支援していくほか、学校、地域、家庭、警察の連携強化を図った。(地域ボランティア、スクールガード、少年指導センター、こども110番の家等の協力)
- ・防犯施設(平成22年度:防犯灯170灯を新規設置)の整備、充実を図った。(防犯灯数:5,498灯)
- ・不審者情報メールの配信を行った。
- ・緊急雇用創出事業として、青色回転灯装備車両による市内102箇所の公園等への夜間(午後6時~午前1時)防犯巡回指導を実施し犯罪発生の抑制に努めた。
- ・防犯パトロールモデル事業をを1地区(熊倉2区)で実施し、支援した。
- ・広報車により、振込め詐欺被害を防ぐための広報活動を実施した。
- ・市内小・中学校の全27校に防犯カメラを設置している。
- ・市内5地区に青色回転灯搭載車を配備し、児童・生徒の下校時に合わせたパトロールを実施した。
- ・立正大学教授小宮信夫教授を講師とした防犯講演会を開催した。(参加者約700名)

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・旧今市市の誘拐事件やコンビニの深夜営業店舗への強盗事件などの身近な事件が発生し、市 民の不安が高まったことから、この解消のため今後も、学校、地域、家庭、警察の連携 を図ってゆく。
- ・防犯灯を含む安全施設整備の充実を図る。
- ・情報交換ができる、連携組織・体制を充実強化する(警察、市、自治会等の関係機関)
- ・地域防犯パトロールを支援する。
- ・青色回転灯装備車両による防犯パトロールを継続して実施する。

22 年度の 評価結果

補足事項